

## ペレットストーブ

# 01

山根さん  
(倉吉市長坂町)



### 導入理由

蒜山の快湯館へ行くことがよくあり、そのロビーにペレットストーブが置いてあること、職場の市役所にペレットストーブが設置してあることなど、身近にあったことが大きなきっかけでした。



### 費用に関して

#### 【イニシャルコスト】

本体：35万円  
煙突：3万円(工事費別途)  
計：38万円程度

#### 【ランニングコスト】

合計：6万円

### 詳細情報

#### 【導入時期のライフステージ】

人数：4人家族  
家族構成：子ども1人、親2人、祖母

#### 【ペレットの使用量】

20kg×16袋

#### 【利用暦】5年間

#### 【メンテナンス】なし

#### ～メリット～

夫婦不在のときに祖母一人になるので、火を扱うことが不安であったので安全を一番に決めた。設置費用も薪ストーブの1/3であり、煙突もFFのファンヒーターと同じ程度で設置が比較的容易であること。ペレットも近隣の業者から一袋単位で配達してもらえるので薪をストックする必要もなく、手軽で便利。ペレットも自動で供給されるので一度スイッチ入れておけばエアコンやファンヒーターと同じ感覚で炎を楽しむことができる。

#### ～導入時にすべきこと～

寒い夜は能力不足で、足元が冷えるので、石油ファンヒーターやエアコンを併用しています。また、ファンの音やペレットが落ちる音が気になる人には向かないかもしれません。お客様をもてなすときに、木の炎を楽しんでもらうにはいいと思う。残念ながら我が家では主暖房とはなっていない。これから導入する人には、設備容量と暖房したい部屋の大きさをしっかり計算できる専門家に相談を。





## ペレットストーブ

# 02

山浦さん  
(倉吉市)



### 導入理由

仕事の関係で長く長崎に住んでいて、よく休日は熊本の阿蘇山へ遊びに行っていました。ペンションなどには薪ストーブを使っておられるところが多く、どの店へ行っても入室するとほんわか暖かくて、いつかは薪ストーブと想っていました。そんなとき、長崎で輸入家具の店に行くとき北欧家具と薪ストーブがいい感じでセッティングしており、いっぺんに虜になりました。本当は薪ストーブがいいなとおもいましたが、高齢になったときに薪の調達や輸送に不安がありました。そこでペレットストーブを導入したのです。



### 費用に関して

#### 【ランニングコスト】

合計：8万円

### 詳細情報

#### 【導入時期のライフステージ】

人数：2人家族  
家族構成：夫婦

#### 【ペレットの使用量】

20kg×40袋

#### 【利用暦】3年間

#### 【メンテナンス】なし

#### ～使ってみて～

炎が見える石油の暖かさは段違いの心地よさ。ペレットの落ちる「カラン コロン」の音も結構気に入っています。毎日のようにペレットを運んでストーブに供給していますが、これも日課のようであまり面倒とは思っていません。煙突工事もFFストーブと同じで吸排気が完全に外なので室内には匂いもなくファンの音もそれほど気にはならない。

#### ～メンテナンスの不安～

導入した工務店が燃料の供給やメンテナンスも引き受けて下さっているので 本当に安心です。

#### ～デメリット～

あえてあげてみると灰の掃除がちょっと面倒かな。一袋20kgのペレットを運ぶことが大変です。今までは車庫にまとめて40袋持ってきてもらっていましたが、近ごろはリビングの近くまで運んでもらって廊下に置いています。

